

# 抗がん剤について 思うこと

2017年12月3日

患者スピーカーバンク

片岡 紀子

# 「肝内胆管がん」 又は 「胆管細胞がん」

- 原発性肝がんの約5%
  - 原因・・・肝炎ウイルスや多量持続的アルコール摂取  
による障害等ではない
  - 肝内結石症、原発性硬化性胆管炎、肝吸虫症などと  
考えられているが詳細は不明
- ➡ 早期発見困難、腫瘍が大きくなってから  
発見されることが多い

ここ10年間で  
切除可能であった症例は14例で  
5年生存率は25%と  
全国的に遜色ない結果

(東京慈恵会医科大学H.P.)

病氣治療の選択に  
生き方が反映される

# 「肝内胆管がん」発見まで

- 内科医院
- 精神科・心療内科
- 呼吸器アレルギークリニック
- レディースクリニック
- 内科・消化器科クリニック

誰も質問してくれなかった

告知は1人で

手術しない方法はないか  
仕事は続けられるか  
抗がん剤の副作用は  
余命は、どのくらいか



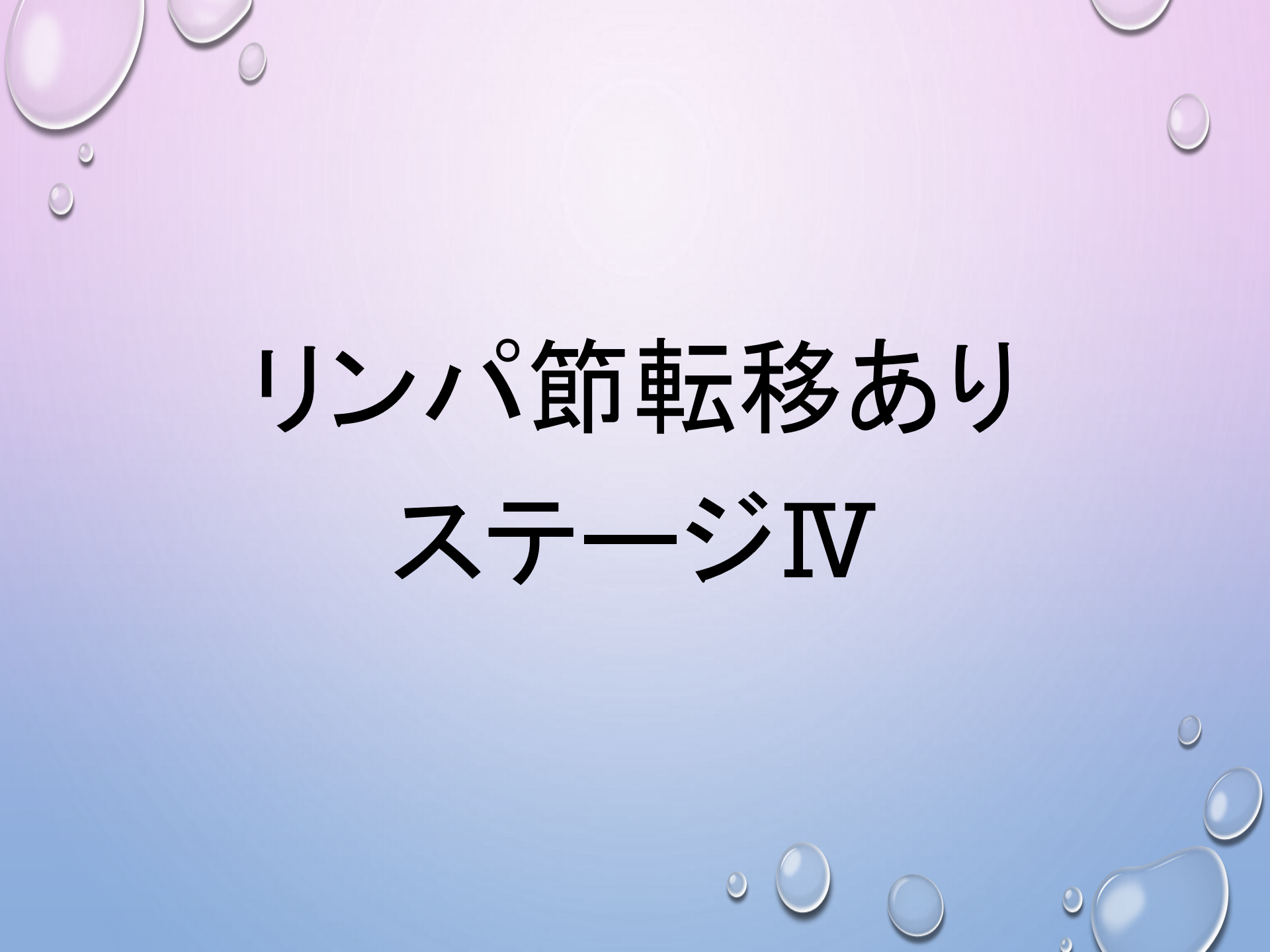
「手術をしなければ  
死ぬことになります」

「目に見えるガン」は

すべて取り切ることができました。

目に見えないガンが

存在する可能性があるので  
全身化学療法をお勧めします。」



リンパ節転移あり  
ステージⅣ

# 肝がんの病期分類と相対生存率

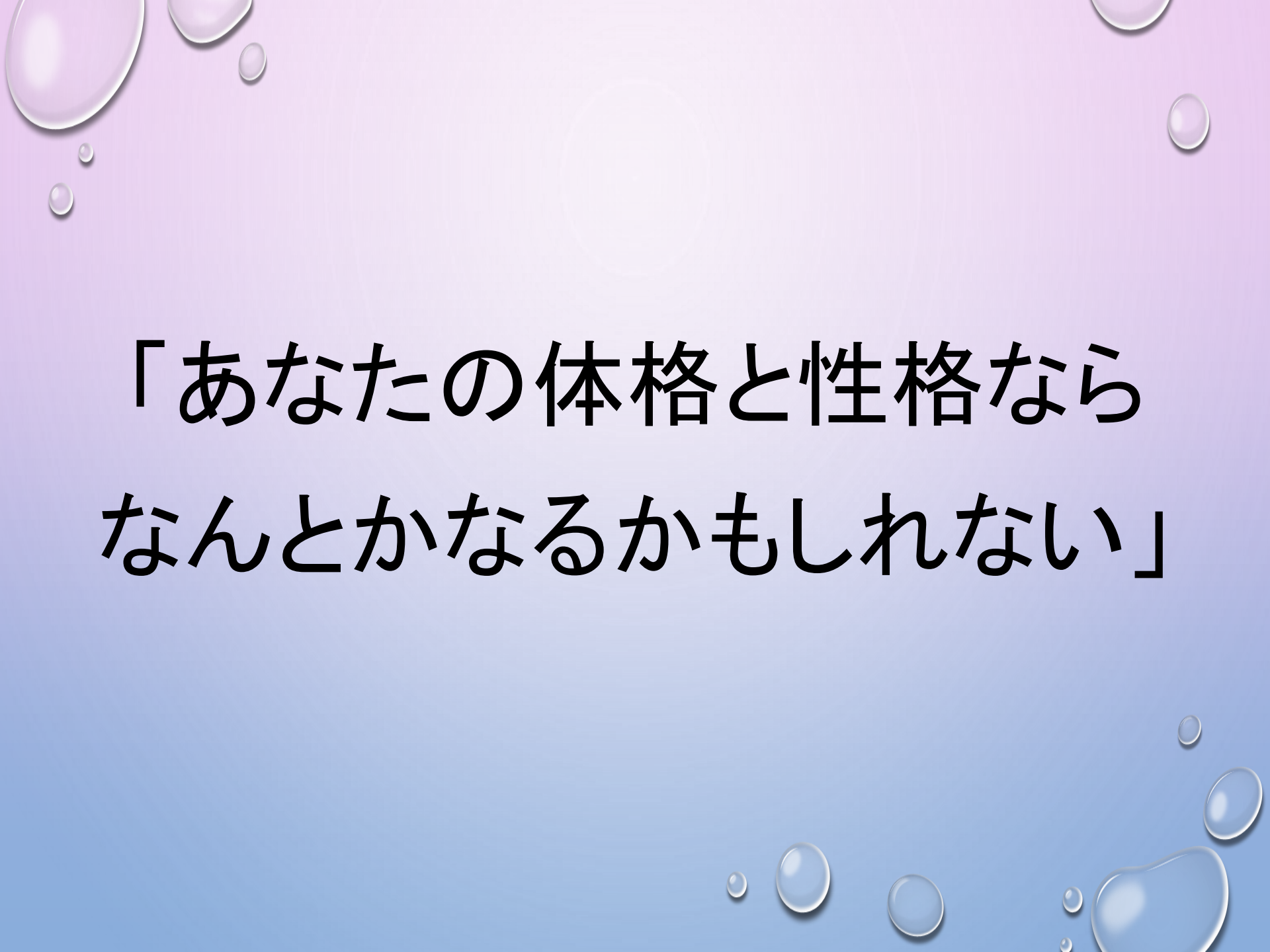
(全がん協加盟施設の生存率共同調査・全がん協生存率より)

	T 1	T 2	T 3	T 4
①腫瘍が一つに限られる	①②③ すべて 合致	2項目合 致	1項目 合致	すべて 合致せず
②腫瘍の大きさが2cm以下				
③脈管(門脈、静脈、胆管)に広がっていない				
リンパ節・遠隔臓器に転移がない	1	2	3	4a
リンパ節転移はあるが遠隔転移はない	4a	4a	4a	4a
遠隔転移がある	4b	4b	4b	4b

10年相対生存率	
(2000～2003手術症例)	
ステージ I	50.2%
ステージ II	33.6%
ステージ III	18.6%
ステージ IV	6.7%
(2017年2月16日更新)	

# 「今後のことについて聞きたい」

- ガンの再発の可能性は何%か
- 抗がん剤をやらないと再発するのか
- 再発したら、余命はどれくらいか
- 再発したら、身体はどうなるのか
- いつまで外出できるのか

The background features a vertical gradient from light pink at the top to light blue at the bottom. Scattered throughout are several realistic water droplets of various sizes, some with highlights and shadows, giving a fresh and clean aesthetic.

「あなたの体格と性格なら  
なんとかなるかもしれない」

抗がん剤を使えば  
ガンが消える!!  
副作用を我慢しよう

相談できる環境が  
なかった



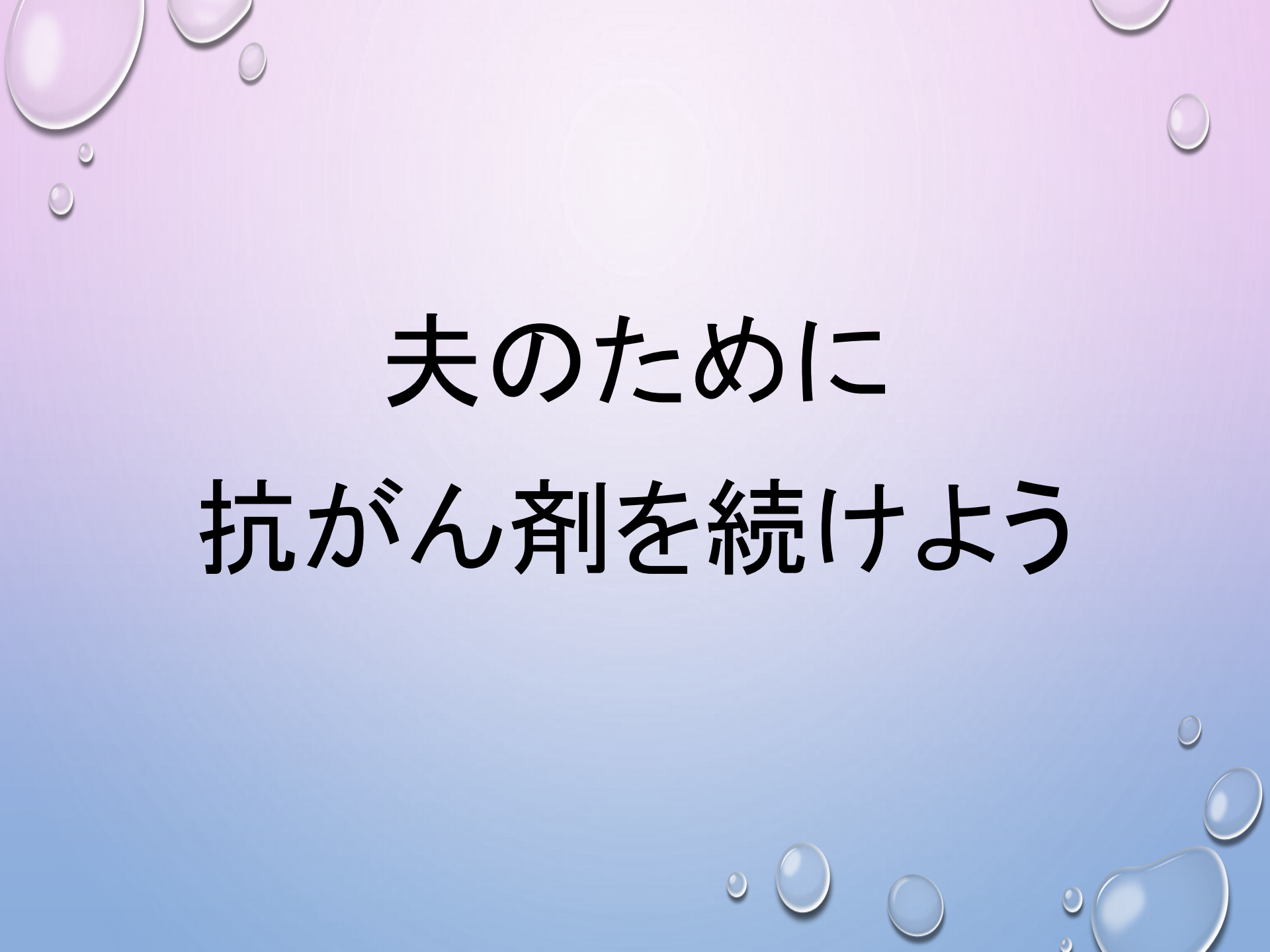


- ・抗がん剤の副作用

血管痛、倦怠感、吐き気

- ・「治る」という実感が無い

「俺も死ぬから、いい」



夫のために  
抗がん剤を続けよう

家族のために  
抗がん剤治療を  
受け入れることがある

# カプセル剤の服用へ変更

## 用 法

朝夕60mg      28日連続経口投与＋14日休薬

## 私の場合

朝夕60mg      14日連続経口投与＋7日休薬

•2007年7月（術後4ヶ月）

職場復帰

•仕事・家事・抗がん剤治療

# 真夏の休薬

・家族・

わすかでも

治る可能性があるなら

使って欲しい



・家族・

予想を超えた副作用

「こんなはずではなかった」

・患者・

わすかでも  
治る可能性があるなら  
使いたい

・患者・

「効果がある」とは「治る」こと

「がん」が消えて

「元の体に戻る」こと

・医師・

わすかでも

治る可能性があるなら

使うべき

## ・医師・

「効果がある」とは  
「がん」がわずかでも  
小さくなること

患者の考える「効果」と  
医師の考える「効果」は  
異なっていた

・抗がん剤の副作用

「倦怠感」「吐き気」「手足のしびれ」

「味覚障害」「色素沈着」等

・抗がん剤を投与される患者の背景

「性別」「年齢」「家族構成」

「職業」「社会的責任」等による違い

再発しても  
抗がん剤は使わない



# 母(70歳)のがん治療

消化管神経内分泌腫瘍(大腸カルチノイド)

※肝臓に複数の転移あり

夫(78歳)と2人暮らし

子ども 3人 孫 5人 ひ孫 1人

自分と家族の治療では  
選択が異なることがある

ガンもどき

「あの医者は  
治す気がないんだ」

「やりたくなければ  
やらなくていいよ」

「あんた決めてよ」

選択を間違えたのか

# がん相談窓口



「お宮参りには  
行けなかったと思う」

# 看護師の助言

父へ感謝を伝える

病氣治療の選択に  
生き方が反映される



最初に

どんな言葉をかけますか